

別添2

肝属保健医療圏の現状

(1) 人口等について

○ 鹿屋市, 垂水市, 東串良町, 錦江町, 南大隅町, 肝付町の2市4町であり, 令和7年3月31日現在の人口は141,781人, そのうち, 高齢者人口は50,700人となっており, 人口に占める高齢者の割合は35.8%となっている。

① 各市町の状況

(肝属地区)

(令和7年3月31日現在) (単位:人, %, km²)

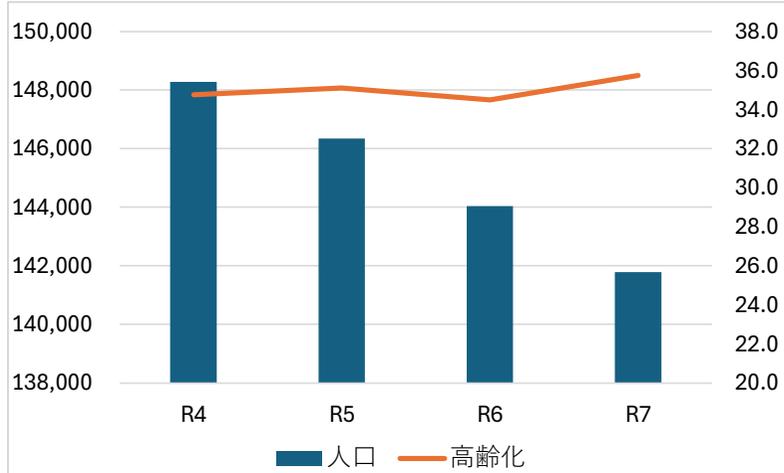
市町村別 区分	鹿屋市	垂水市	東串良町	錦江町	南大隅町	肝付町	計
人口	97,366	12,817	6,312	6,063	5,801	13,422	141,781
高齢者人口	30,456	5,981	2,367	2,977	3,024	5,895	50,700
人口に占める 高齢者の割合	31.3	46.7	37.5	49.1	52.1	43.9	35.8
世帯数	50,846	7,129	3,241	3,424	3,411	7,329	75,380
面積	448.15	162.10	27.85	163.19	213.59	308.04	1,322.92

※1 高齢者人口は65歳以上の人口である。

※2 面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」による(令和7年1月1日現在)

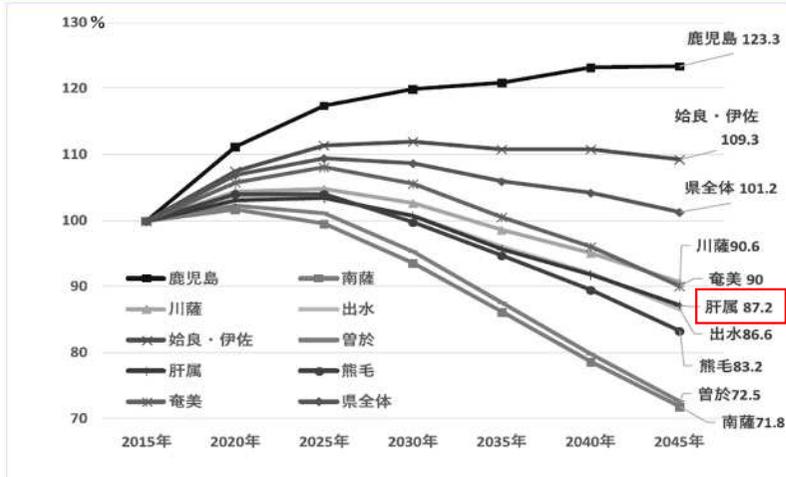
出典: 社会保障・人口問題統計調査

② 人口及び高齢化率の推移(肝属)



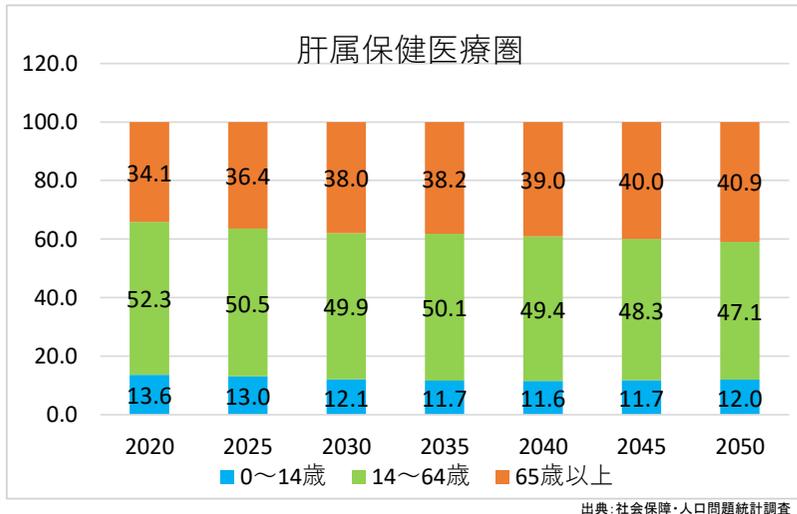
出典: 社会保障・人口問題統計調査

③ 65歳以上人口の推移(2015年比)



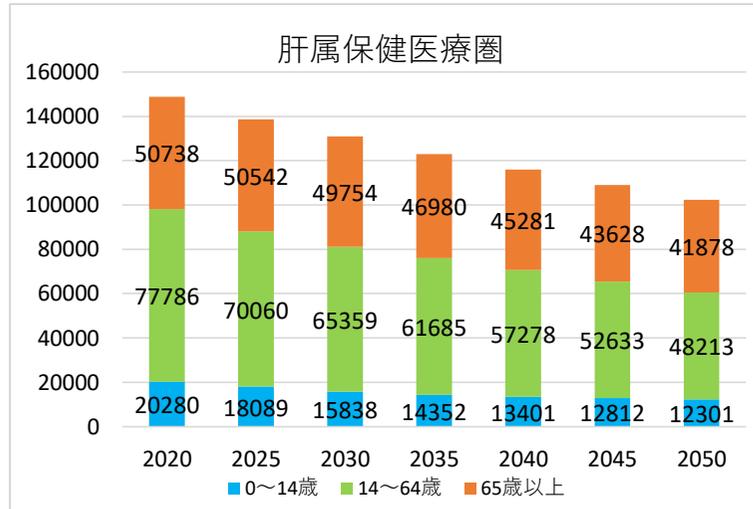
[国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成30年3月)]

④ 年齢階級別将来推計人口割合(%)



出典: 社会保障・人口問題統計調査

⑤ 年齢階級別将来推計人口(人)



出典: 社会保障・人口問題統計調査

○ 本医療圏の人口は、年々大幅に減少している。また、65歳以上人口についても、減少が見込まれている。

○ 本医療圏の65歳以上人口の推移(2015年比)をみると、65歳以上の割合は2025年をピークに減少している。年齢階級別にみると、人口は減少するが、高齢者人口の割合は2025年以降横ばいとなる見込みである。

(2) 医療施設の状況について

- 令和2年における本医療圏の人口10万人に対する一般病院数及び有床診療所数は全国と比較し、多くなっている。
- 人口10万人に対する病床数をみると、一般病床は全国と比較し、全国より非常に多くなっており、療養病床もやや多くなっている。

① 医療施設数及び一般・療養病床の状況

医療施設 保健医療圏	一般病院		有床診療所		一般病床(床)		療養病床(床)		計(床)	
	人口 10万人対									
鹿児島	88	13.2	119	17.8	8,833	1320.5	3,082	460.7	11,915	1781.2
南薩	24	19.2	29	23.2	1,615	1291.9	883	706.3	2,498	1998.2
川薩	12	10.7	25	22.2	1,141	1012.9	556	493.6	1,697	1506.5
出水	5	6.2	15	18.5	695	858.4	302	373.0	997	1231.3
始良・伊佐	29	12.4	48	20.6	2,570	1102.7	1,519	651.8	4,089	1754.5
曾於	8	10.7	9	12.0	507	675.8	488	650.5	995	1326.2
肝属	15	10.1	31	20.8	2,263	1520.8	452	303.8	2,715	1824.5
熊毛	3	7.6	4	10.1	459	1160.6	11	27.8	470	1188.4
奄美	13	12.5	18	17.3	1,409	1351.2	583	559.1	1,992	1910.2
県計	197	12.4	298	18.8	19,492	1227.3	7,876	495.9	27,368	1723.1
全国	7,179	5.7	6,303	5.0	967,030	766.6	296,050	234.7	1,263,080	1001.3

[令和2年医療施設調査]

② 標榜科目数

区分	鹿児島	南薩	川薩	出水	始良・伊佐	曾於	肝属	熊毛	奄美	計
内科	97	29	20	14	45	11	24	5	13	258
心療内科	12	3	2	0	6	1	2	2	1	29
精神科	17	4	2	1	6	1	3	2	4	40
神経内科	22	8	2	4	7	2	7	1	2	55
呼吸器内科	33	10	7	3	9	1	6	1	1	71
消化器内科	49	16	12	6	18	2	11	1	4	119
胃腸内科	10	0	0	3	4	2	3	0	4	26
循環器内科	45	15	7	6	19	3	10	2	4	111
アレルギー科	3	0	0	0	1	0	0	0	1	5
リウマチ科	22	2	2	0	6	0	4	1	1	38
小児科	16	6	3	2	13	3	5	3	7	58
外科	35	12	10	9	18	3	15	4	6	112
整形外科	36	12	12	5	18	4	14	3	7	111
形成外科	5	0	0	0	1	0	3	1	0	10
美容外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	10	4	2	2	7	3	5	3	2	38
呼吸器外科	6	2	1	1	2	1	2	0	1	16
消化器外科	13	4	3	3	3	0	5	1	1	33
心臓血管外科	6	0	1	1	0	0	1	1	0	10
小児外科	2	1	1	2	1	0	1	1	0	9
皮膚科	9	3	1	1	10	3	3	1	2	33
泌尿器科	16	4	3	4	6	2	5	2	2	44
性感症内科	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
肛門外科	12	5	2	1	4	0	6	0	1	31
産婦人科	10	3	3	2	3	1	3	2	1	28
産科	8	0	0	0	1	0	2	0	0	11
婦人科	15	2	0	1	3	1	5	0	1	28
眼科	15	5	5	3	6	2	5	3	3	47
耳鼻いんこう科	5	1	0	1	2	1	6	3	2	21
食道外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリテーション科	68	16	12	7	31	7	15	4	6	166
放射線科	32	10	7	3	9	5	4	2	3	75
歯科	8	1	2	0	1	0	1	0	1	14
矯正歯科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
小児歯科	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
歯科口腔外科	4	1	0	0	1	0	2	1	1	10
麻酔科	30	7	6	4	6	3	5	3	3	67

出典：鹿児島県保健医療福祉計画

(3) 患者の動向について

① 病院等入院患者の移動の状況(単位:人)

		医療機関所在地										総計
		鹿児島	南薩	川薩	出水	始良・伊佐	曾於	肝属	熊毛	奄美	県外	
患者 住 所 地	鹿児島	133,579	1,227	1,270	16	1,874	*	134	*	12	709	138,821
		96.2%	0.9%	0.9%	0.0%	1.3%	-	0.1%	-	0.0%	0.5%	100%
	南薩	10,276	35,824	*	*	104	*	*	*	*	56	46,260
		22.2%	77.4%	-	-	0.2%	-	-	-	-	0.1%	100%
	川薩	4,965	27	20,722	84	738	*	*	*	*	96	26,632
		18.6%	0.1%	77.8%	0.3%	2.8%	-	-	-	-	0.4%	100%
	出水	1,762	12	794	16,613	238	*	12	*	*	2,066	21,497
		8.2%	0.1%	3.7%	77.3%	1.1%	-	0.1%	-	-	9.6%	100%
	始良・伊佐	9,136	48	73	11	45,608	*	24	*	*	1,570	56,470
		16.2%	0.1%	0.1%	0.0%	80.8%	-	0.0%	-	-	2.8%	100%
	曾於	1,298	*	*	*	823	10,822	4,143	*	*	5,133	22,219
		5.8%	-	-	-	3.7%	48.7%	18.6%	-	-	23.1%	100%
	肝属	3,913	22	10	*	1,079	719	31,681	*	*	614	38,038
		10.3%	0.1%	0.0%	-	2.8%	1.9%	83.3%	-	-	1.6%	100%
	熊毛	3,755	*	*	*	155	*	*	8,704	*	45	12,659
		29.7%	-	-	-	1.2%	-	-	68.8%	-	0.4%	100%
	奄美	2,676	*	*	*	252	*	*	*	26,670	1,095	30,693
		8.7%	-	-	-	0.8%	-	-	-	86.9%	3.6%	100%
総計	171,360	37,160	22,869	16,724	50,871	11,541	35,994	8,704	26,682	11,384	393,289	
	43.6%	9.4%	5.8%	4.3%	12.9%	2.9%	9.2%	2.2%	6.8%	2.9%	100%	

出典:鹿児島県保健医療福祉計画

② 患者の流出入の状況

		推計流入患者割合	推計流出患者割合
曾於	R2	8.1	54.3
	R5	17.8	61.3
肝属	R2	11.6	21.1
	R5	14.5	18.4
鹿児島	R2	19.8	5.5
	R5	18.7	4.7
始良・伊佐	R2	18	16.9
	R5	18.7	4.7
都城北諸県	R2	19.8	12.5
	R5	21.7	14.9

出典:患者調査

○ 肝属保健医療圏の患者流出入の状況を見ると、流入患者より流出患者の割合が大きくなっているが、令和2年と比較すると、流入患者割合は増加し、流出患者割合は減少している。また、入院患者の移動状況をみると、多くが圏域内での入院であるが、10.3%が鹿児島保健医療圏へ移動していることがわかる。

(4) 医療従事者の状況について

① 医師・歯科医師・薬剤師・看護師・准看護師数

保健医療圏	職種		職種		職種		職種		職種	
	医師 (人)	人口 10万人対	歯科医師 (人)	人口 10万人対	薬剤師 (人)	人口 10万人対	看護師 (人)	人口 10万人対	准看護師 (人)	人口 10万人対
鹿児島	2,847	425.6	814	121.7	1,751	261.8	7,917	1,183.6	948	141.6
南薩	299	239.2	79	63.2	217	173.6	1,180	944.2	476	380.5
川薩	269	238.8	80	71.0	213	189.1	771	684.7	225	199.7
出水	145	179.1	44	54.3	131	161.8	483	596.5	106	131.2
始良・伊佐	464	199.1	131	56.2	397	170.3	1,971	845.7	351	150.7
曾於	88	117.3	42	56.0	90	120.0	335	446.5	112	148.9
肝属	304	204.3	88	59.1	276	185.5	1,334	896.3	251	168.9
熊毛	49	123.9	20	50.6	45	113.8	222	562.1	78	198.0
奄美	188	180.3	54	51.8	146	140.0	929	890.8	151	144.6
県計	4,653	293.0	1,352	85.1	3,266	205.6	15,143	953.4	2,698	169.9
全国	339,623	269.2	107,443	85.2	321,982	255.2	827,451.2	655.9	90,774.9	72.0

[医師・歯科医師・薬剤師数：令和2年医師・歯科医師・薬剤師統計]

[看護師・准看護師数：令和2年医療施設調査]

② 市町別医師数及び人口

	人口	医師数	10万対
鹿屋市	100,350	217	216.2
垂水市	13,733	20	145.6
東串良町	6,515	6	92.1
錦江町	6,796	10	147.1
南大隅町	6,505	4	61.5
肝付町	14,384	21	146.0

※人口は令和4年3月31日時点

出典：令和4年医師・歯科医師・薬剤師統計

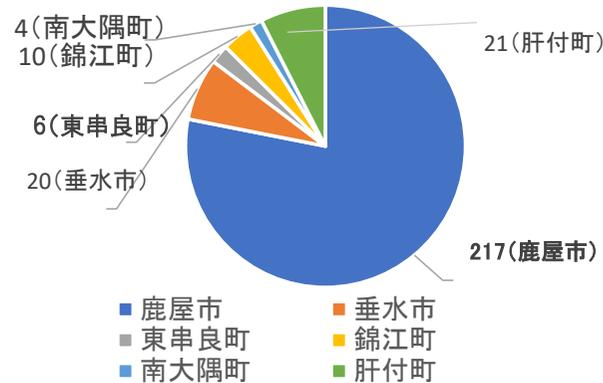
※医師数は令和4年12月28日時点

③ 医師偏在指数及び現在の医師数と目標医師数

医療圏名等	医師偏在指標 (2022)	銅シシ	分類	目標医師数 (2026)	現在の医師数 (2020)
全国	255.6	—	—	—	—
鹿児島県	254.8	21/47		4,481	4,471
鹿児島二次医療圏	349.0	15/335	医師多数区域	2,707	2,707
南薩二次医療圏	200.1	160/335		292	292
川薩二次医療圏	220.0	106/335	医師多数区域	261	261
出水二次医療圏	171.8	239/335	医師少数区域	141	141
始良・伊佐二次医療圏	176.3	230/335	医師少数区域	455	455
曾於二次医療圏	153.8	282/335	医師少数区域	82	82
肝属二次医療圏	182.4	211/335		297	297
熊毛二次医療圏	129.7	322/335	医師少数区域	57	47
奄美二次医療圏	164.7	253/335	医師少数区域	187	187

[厚生労働省提供データ]

④ 従業地別医療従事者医師数

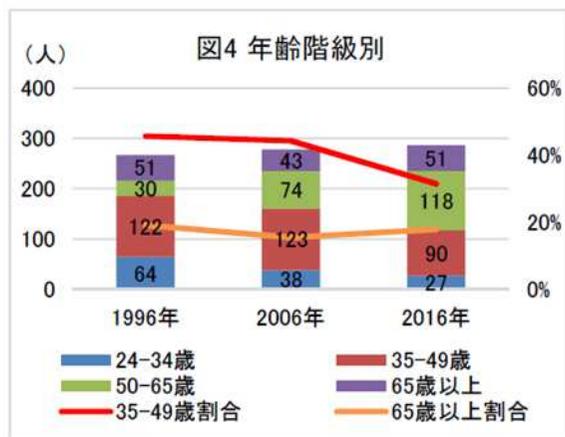
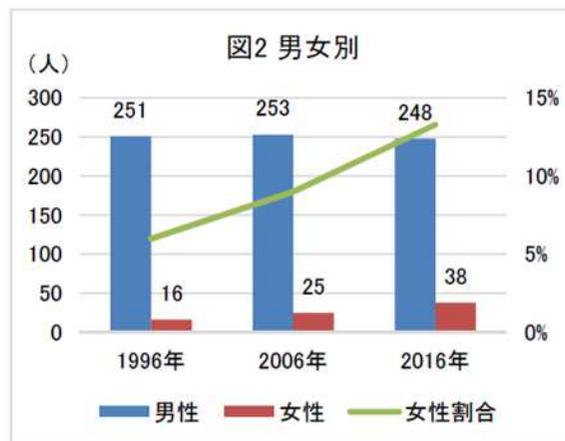


出典：令和4年医師・歯科医師・薬剤師統計

○ 本圏域の医師数は、③の表で目標となっている297人に対し、②の表によると現在の医師数は278人であり、目標値には届いていない状況。

○ 人口10万対で市町別の医師数をみると、鹿屋市は圧倒的に多くなっており、対して東串良町、南大隅町は少なく、医師の偏在が見られる。

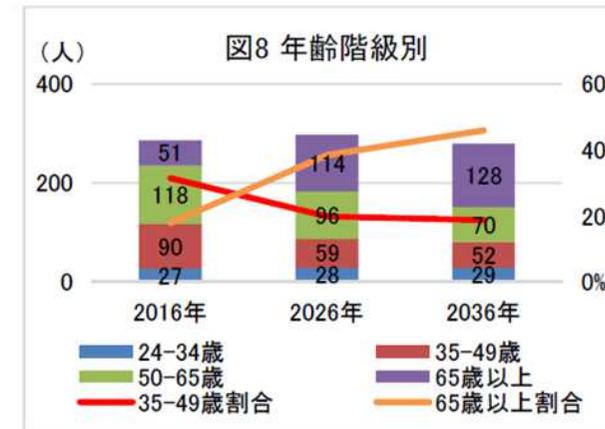
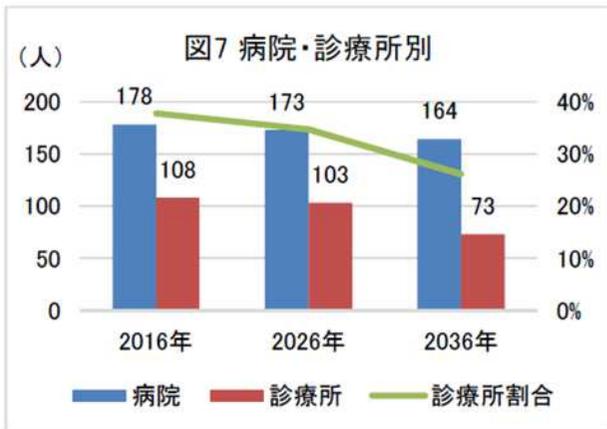
⑤ 各項目における医師数の推移（肝属保健医療圏の状況）



出典：日本医師会総合政策研究機構『医師数データ（2018年版）』

- 日本医師会総合政策研修機構の調査報告によると、1996年から2016年にかけて、本圏域の総人口は20,621人(-12%)減少し、医療施設勤務医師数は19人(7%)増加した。
- 2016年の人口10万人あたり医師数は182人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。
- 1996年から2016年にかけて人口10万人あたり医師数は21%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。年齢構成別にみると、1996年から2016年にかけて35~49歳の医師は32人減少し、全国平均を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。
- 65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて増減がなく、全国平均を下回る増加率となっている。65歳以上の医師の比率は減少傾向にある。

⑥ 各項目における医師数の将来推計(肝属保健医療圏の状況)



出典：日本医師会総合政策研究機構『医師数データ(2018年版)』

○ 日本医師会総合政策研修機構の調査報告によると、2036年の人口10万人当たり医師数は218人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人あたり医師数は20%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

○ 病院医師は2016年から2036年にかけて14人(-8%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に35人(-32%)減り、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は26%と全国平均(26%)と同程度である。

○ 年齢構成別にみると、2016年から2036年にかけて35~49歳の医師は38人(-42%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

○ 65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて77人(151%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

(5) 医療・介護の状況について

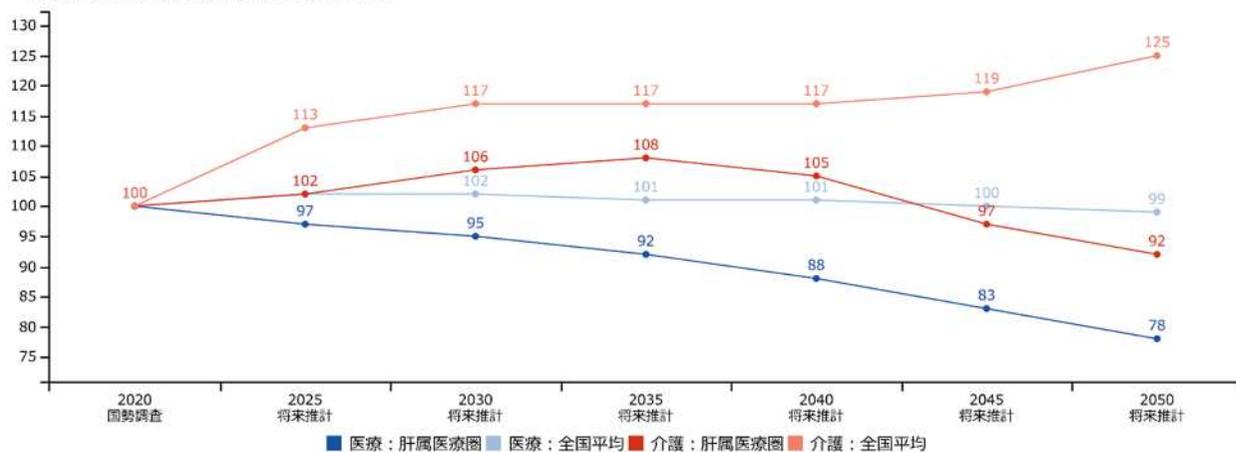
① 市町別要介護者の状況と今後の推計

	要介護者数	要介護認定率	偏差値 ※全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 ※全国は標準偏差	要介護者数推計 (2025年)	要介護者数推計 (2045年)
鹿屋市	4,537	15%	51	2,452	54%	62	5,447	6,130
垂水市	860	14%	51	440	51%	56	879	820
東串良町	358	16%	52	211	59%	71	317	292
錦江町	510	16%	52	295	58%	69	469	395
南大隅町	545	17%	53	304	56%	65	413	325
肝付町	1,140	19%	54	584	51%	56	1,059	928
全国	4,807,506	13%	14%	2,299,792	48%	5%	6,084,274	6,747,236
鹿児島県	75,531	15%	51	38,140	50%	55	85,380	94,948

出典：日本医師会総合政策研究機構『地域の医療介護提供体制の現状(2022年版)』

② 本圏域の医療介護需要予測指数

医療介護需要予測指数 (2020年実績=100)



出典：JMAP

○ 圏域内市町の要介護認定率は、肝付町が19%とやや高くなっているが、その他は全国平均レベルとなっている。うち、要介護3以上が占める割合は、全市町が、全国、県を上回り、高くなっている。

○ 要介護者数の将来推計は、垂水市は2030年をピークに、鹿屋市は2045年まで増加していく見込みであるが、その他の市町は減少が見込まれている。圏域全体でみると、今後要介護者数は減少していく見込みとなっている。

○ 今後の人口減少にともない、医療需要は今後も引き続きさらに減少していく予測となっている。また、今後全国的に介護需要が高まる予想となっている中、本圏域の介護需要は2035年をピークに減少していく予測となっている。

③ 地域介護資源



④ 施設種類別の定員数



⑤ 介護職員数



○ 介護施設数については、ほとんどの種別で県を上回っており、県と比較すると充足していると思われる。

○ 施設種類別の定員数をみると、入所型は県と比較し、定員数が多くなっているが、特定施設は少ない状況。

○ 介護職員数については、県と比較し、多くなっている。

⑤ 往診の状況(肝属保健医療圏)

	病院					診療所					総数				
	病院総数	往診実施施設数	往診実施率(%)	往診件数	1施設当たりの往診件数	診療所総数	往診実施施設数	往診実施率(%)	往診件数	1施設当たりの往診件数	施設数	往診実施施設数	往診実施率(%)	往診件数	1施設当たりの往診件数
H29	21	5	23.8	17	3.4	119	35	29.4	346	9.9	140	40	28.6	363	9.1
R2	18	6	33.3	13	2.2	113	30	26.5	401	13.4	131	36	27.5	414	11.5
R5	17	7	41.2	22	3.1	114	27	23.7	266	9.9	131	34	26.0	288	8.5

出典:医療施設調査

⑥ 訪問診療の状況(肝属保健医療圏)

	病院					診療所					総数				
	病院総数	訪問診療実施施設数	訪問診療実施率(%)	訪問診療件数	1施設当たりの訪問診療件数	診療所総数	訪問診療実施施設数	訪問診療実施率(%)	訪問診療件数	1施設当たりの訪問診療件数	施設数	訪問診療実施施設数	訪問診療実施率(%)	訪問診療件数	1施設当たりの訪問診療件数
H29	21	8	38.1	218	27.25	119	35	29.4	2564	73.3	140	43	30.7	2782	64.7
R2	18	7	38.9	127	18.1	113	34	30.1	2876	84.6	131	41	31.3	3003	73.2
R5	17	7	41.2	131	18.7	114	29	25.4	1834	63.2	131	36	27.5	1965	54.6

出典:医療施設調査

⑦ 在宅看取りの状況(肝属保健医療圏)

	病院					診療所					総数				
	病院総数	在宅看取り実施施設数	在宅看取り実施率(%)	在宅看取り件数	1施設当たりの在宅看取り件数	診療所総数	在宅看取り実施施設数	在宅看取り実施率(%)	在宅看取り件数	1施設当たりの在宅看取り件数	施設数	在宅看取り実施施設数	在宅看取り実施率(%)	在宅看取り件数	1施設当たりの在宅看取り件数
H29	21	1	4.8	1	1	119	10	8.4	18	1.8	140	11	7.9	19	1.7
R2	18	3	16.7	5	1.7	113	6	5.3	12	2.0	131	9	6.9	17	1.9
R5	17	3	17.6	4	1.3	114	9	7.9	30	3.3	131	12	9.2	34	2.8

出典:医療施設調査

それぞれの総数をみると、往診・訪問診療の実施件数は徐々に減少し、在宅看取りの実施件数は増加している。実施している医療機関数はR2以降変化がない。往診、訪問診療、在宅看取り実施件数は診療所が多い。